

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 産業教育・キャリア教育担当

内線: 6762

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B26	高校生の「農力」育成強化プロジェクト		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成30年度～ 令和4年度	根拠法令	産業教育振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律		宣言項目	06 次代を担う人財育成		
					分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出する。</p> <p>(1) G A P 教育環境整備事業 (学校建設費) 千円</p> <p>(2) G A P 教育環境整備事業 △115千円</p> <p>(3) G A P 教育推進事業 △121千円</p> <p>(4) 地域特産品開発拠点整備事業 △69千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア G A P 教育環境整備事業 (施設・教育設備) 230,045千円 担い手育成に取り組む農業高校3校(熊谷農業・杉戸農業・秩父農工)のG A P 実践のための教育環境整備</p> <p>イ G A P 教育推進事業 6,228千円 (7) G A P 実践・認証取得 農業高校8校においてG A P の実践・G A P 認証の取得に取り組む。</p> <p>(4) G A P 教育 農業高校8校でG A P 教育を推進するため、教育環境の整備、教員の研修や先進校の視察等を行う。</p> <p>ウ 地域特産品開発拠点整備事業 763千円 秩父農工科学高校で、埼玉大学等と共同で特許を持つ「第3のみつ」について、実際に地域の養蜂家が使えるようにするため新たな製造技術の開発等に取り組む。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア G A P 教育環境整備 (7)熊谷農業 温室整備 (4)杉戸農業 温室整備 (7)秩父農工 温室解体</p> <p>イ G A P 認証の取得 (7)GLOBALG. A. P 熊谷農業(野菜) 杉戸農業(果樹)</p> <p>(4)S-GAP 農業高校8校</p> <p>ウ 地域特産品開発拠点整備事業 「第3のみつ」の製造技術開発・地域特産品の開発販売等(H30～R4)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 農業高校の魅力向上</p> <p>イ 経営感覚・国際感覚・チャレンジ精神を兼ね備えた地域農業の担い手育成</p> <p>ウ 農業高校による地域への貢献(県産農産物の魅力発信・地域の特産品の開発等)</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>イ・ウ: 予算の節約による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△305						△305	5,048
現計額	5,353						5,353	